

関東支部会報

創刊号

発行者

上田千曲高等学校同窓会関東支部会
〒171東京都豊島区目白2-4-10金沢ビル
金沢産業(株)TEL 03-3987-1646

FAX 03-3987-1648

「母校創立八十周年記念プレ祝賀祭」を迎えて

関東支部会長 金澤秀世

秋冷の候となりました。同窓の皆様には如何お過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

さて、我等母校も来年には、創立八十周年の佳節を迎えます。創立以来旧師・職員の諸先生方・又同窓の諸兄姉の皆様方の御力と深く敬意と感謝を申し上げる次第でございます。特に第二次世界大戦の戦中・戦後の国中あげての困難な時代に精励努力されました恩師・諸兄姉には感謝の言葉も見出し得ません。

因みに二十五年卒の私にとっては、旧兵舎の改造教室で学んだ厳しい環境での歴史と併せて、恩師級友との生命のつながりが宝物となっております。先生と生徒は知識学習の域をはるかに越え、息子であり娘であり時には厳しい親となって叱咤激励を多々受けました。質実剛健・豊かな情操教育を標榜する「千曲高校」の「同窓生」としての誇りは、「真っ赤な太陽の如く」赤々といつも胸中に燃えております。

さて今日の日本経済をみますと、バブル崩壊後の数多くの構造不況による長引く不況の長期化、国内産業の空洞化現象の激化等々大変な時代を迎えております。こうなれば愈々長野県下屈指の総合的職業高校としての「我が千曲高校」の出番だと申し上げて良いのではないのでしょうか。現に千曲出身の新進気鋭の素晴らしい杉崎斌校長のもと、今や我が母校は隆々発展の一途であります。明年秋の長野オリンピックに向けて北陸新幹線も着々整備され、又上信越高速自動車道も上田、更埴まで貫通しました。上田、上小地域も愈々活性化発展の息吹きに燃えております。

之等の意義をふまえ、本年の関東支部総会は「母校創立八十周年記念、「プレ祝賀祭」と銘打って集い合いたいと思います。同じ学び舎で机に向かい。苦しみも楽しみも共にした吾等、何ものにも変えがたい友情とそれが自己を支え励ましともなって人生の大きな原動力となったこと。旧友との再会、先輩後輩との心のえにしをかみしめる、その時その熱い想いは互いの励ましともなってゆき、又それは母校への愛情と発展への源と昇華してゆく、これが同窓会の魂といえましょう。

さあ皆様、同級同期夫々声を掛け合って、「プレ祝賀記念総会」に喜び勇んで集おうではありませんか。母校学校長・恩師・諸先生方及び本部同窓会長・役員方をお迎えして心よりお待ち申し上げます。

最後に皆様方の御健勝をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

工作・産業機械・専用機
ケーキ自動ラインリサイクルセンター

金沢産業株式会社

代表取締役 金沢秀世

TEL (03) 3787-1646
FAX (03) 3987-1648

内装工事全般

内装技研工業株式会社

代表取締役 成澤 学

〒114 東京都北区豊島1-26-4
TEL (03) 3927-1500
FAX (03) 3911-5479

ご挨拶

学校長 杉崎斌

関東支部会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のことと拝察し、心からお喜び申し上げます。懸案の創立80周年記念事業につきましては、お陰様をもちまして、準備の方は着々と進んでおります。過日、同窓会館の改修及び屋内運動場建設の入札が終え、いよいよ着工の運びになりました。ご支援の賜物と厚く感謝いたしております。60周年記念事業の折りには、神林会長をはじめ皆様のご支援のおかげで成功しました。今回も同様なご協力をお願いいたします。

今年も文化祭が今様に盛大に終えましたが、商業科の生徒による文化祭のポスターが人気があり、その所感をパンフレットに載せましたので紹介します。椰子の実が長い間海を漂い流れ着いて異国の海岸で根をおろし、若々しく力強い芽を出している情景が彩りもよく表現されています。民族学者の柳田国男が渥美半島先端近くにある日出を訪れた際、その海岸に一つの発芽し始めた椰子の実を見つけました。遠州灘沖の地平線を見つめ、遙かなる南方の国を思い浮かべ…思いに耽ったそうです。そのことを仲の良い藤村に話しましたところ、藤村も感激し若者の人間としての生き様と希望を作詞し、大中寅二が旋律をつけたのが名曲の椰子の実であります。名も知らぬ遠き島より、流れよる椰子の実一つで始まり、「海の日の沈むを見れば、激り落つ異国の涙思いやる八重の汐々、何れの日にか国へ帰らん」で終える歌であります。

国際化時代の今日、勤めは、遠近さまざまあれど、波に揉まれ、漂い大地に根をしっかりとおりし、成長する姿は人間同様であります。故郷を離れ、大成された皆様の思いは故郷へ帰っておられる心境に思いを馳せながら、また、60周年式典のアトラクションに同窓生のバイオリスト宮下要氏の奏でる椰子の実の曲を思いながら原稿にした次第であります。文化祭直前に校長室に掃除に来る生徒にポスターの椰子の実を指し、これは何だろうと聞くと半数が椰子の実と答えており、あと半数はわからないとか、玉葱とか答えておりますが、今様では半数読めたことは立派なことです。説明してやると目を輝かせております。人類共通の心はここにあり、再認識しました。後輩も着実に育っていますのでご安心ください。

皆様の益々ご健勝とご発展を祈りながら挨拶にかえさせていただきます。

本部同窓会長 ご挨拶

同窓会長 成澤秀敏

日増しに秋が深まる候、上田千曲高校同窓会関東支部の皆様には、益々ご清祥にてお過ごしのことと存じお慶び申し上げます。

昨年は、阪神・淡路大震災によってボランティア活動への関心が大きく高まった一方で学校における“いじめ”やオウム教団による一連の事件など、倫理を踏みこじって、自分さえよければという“思いやり”のかけらも見られない行為が、大きな社会問題となりました。今こそ、まさに人間性の原点に立ち戻り、「心」の問題に取り組まなければならない時かと思えます。

さて、翌年に迫った上田千曲高校創立80周年記念事業遂行のため、積極的なご支援とご協力をいただき心より厚く御礼申し上げます。この大事業完遂をめざし、支部組織の確立・企業等への協賛金の依頼など、原資確保のため役員一同総出で取りかかり着々と成果を上げつつあります。

しかし、何分にも8千万円という計画投資額は多大であり、加えて9月末日までに工事契約を済まないと消費税率アップに直面することから、止むなく背水の陣ながら前倒しにて、契約調印を交わすことと致しました。

中国故事、“隗より始めよ”では「すべての大きな計画も手近なところからはじめ、実践をもって示せねば人を動かすことはできない。」と教えています。同級生ひとり一人が心を合わせ、創立80周年記念事業の目的達成に向けて、募金活動の実践を第一義として、お考えいただくようお願い申し上げます。

上田千曲高等学校同窓会 関東関東支部 建築科部会

部会長 杉崎寿三男
幹事 内藤利幸

相談役 清水 貢 中村 昌文
副会長 荒木重俊
副事務局長 丸山昇一



上田千曲高等学校同窓会 関東関東支部 機械科部会

部会長 松尾道雄
幹事 小林侑 滝沢明 成沢智嗣
柳沢武 手塚省三

会長 金沢秀世



関東支部建築科部会総会開催 部会長 杉崎寿三男(昭和29年卒)

去る平成8年6月15日に関東各地で活躍中の建築科出身の60名が東京乃木坂健保会館にて総会を開催しました。母校から杉崎斌校長、林明男先生、恩師丸山登一郎先生、相場今朝一先生他が来賓として出席されました。久方振りの総会とあってなつかしい面々が集い、業界のことやら、身の回りの話がはずみ、時間の経過を忘れて楽しいひとときを過ごしました。

また記念講演として、東京都議会議員で活躍中の坂口光治氏(昭41年電卒)を招き、「行政よりみた建築界」を拝聴しました。日頃生活の中で、都政・建築との関わり、老後の施設等々と幅広く話され、興味深く聞き入っていました。また今回は、役員改選期でもあり、新しい顔ぶれが紹介されました。来年も元気な姿でこの会に再会することを約束して、幕を閉じました。

千曲二八(につぱち)会開催 家庭科 玉置町子(昭和28年卒)

昭和28年卒業第1回同期会及び創立総会を、43年振りに開催しました。

平成8年9月28日、午後1時からネパール・レストラン・クンビラに於いて、関東一円在住の43名が集まり盛会に行われました。お食事をしながら学生時代を思う存分懐かしみ同時に近況を語り合い、還暦が過ぎた集まりとは思えない十代の顔にもどり、話に花が咲き、懐かしく再会を心から喜び合いました。この会の名称を全会一致で千曲二八会と名付け、2年に一度9月に開くことに決め、各クラスより幹事1名が選出されました。

残念乍ら今回出席できなかった方も、次回には参加し、この会を盛りあげ、楽しいつどいのある場になるよう心より願っています。こうした横のつながりに発展し、同窓会に一人でも多くご協力できればと考えております。総会のご案内をごらんになりましたら是非お知り合いの方にお声をかけていただき、まずご出席をお願い致します。



上田千曲高等学校同窓会 関東支部 商業科部会

部会長 高橋清子
幹事 花見功 松田正三
上原晴久 市村咲子
相談役 成澤 学
副会長 三井 昂
会計監査 松林由美子



上田千曲高等学校同窓会 関東支部 家庭科部会

部会長 篠原たき子
幹事 松井良子 久田久子
顧問 長沼静 荒井和子
相談役 田中睦子
副会長 玉置町子
副事務局長 人見昭子



母校創立80周年記念募金にご協力を

来る平成9年を以て母校は創立80周年を迎えることになりました。母校同窓会と関東支部会からすでに会員の皆様へ募金協力をお願いしてまいりました結果、多くの皆様方にご理解・ご協力をいただき、お陰様で最近切れ間無く母校同窓会事務局へ入金があるとのことであります。しかしながら今のところ目標額の半分程度とのことでありますので、寄付金締め切り(平成8年12月末日)までに尚一層のご協力をお願い申し上げます。

東京上田会誕生

竹下上田市長の呼びかけのもと、上田市および近郊における高校の関東地区同窓会等の協力のもとに東京上田会が誕生しました。その設立記念の集いが平成8年9月28日(土)アサヒビール吾妻橋ビルにて約300名が集まり、盛大に開催されました。この会の入会資格は、上田市に興味があり、愛する動機があれば十分です。我が関東支部会からも多数の会員が入会しているほか、役員も多数務めています。我が郷土の発展の為に多くの方のご参加を期待いたします。

東京上田会連絡先 TEL 03-3291-6996

事務局より

ここに広報紙を会員の皆様方にお届けできる事になり、ご協力をいただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

昨年度総会におきまして、関東支部同窓会を設立し、長年会長を務められた神林会長に代わり金沢氏が会長に就任されました。その折り、新会則を制定し、役員の方々に新人を迎え、組織の強化が図られました。

現在事務局は、予算の健全化、会員名簿の整備、事務業務の機械化等を進めています。しかしながら何分にも経験が浅く、何かと至らぬ点が多く、失礼があるかと存じますがお許しの程願います。

言うまでもなく同窓会は、総会におきまして会員同士の消息を確かめ合うことがなにより楽しみであります。広報紙とて同じであります。会員の皆様方が、今どんな考えを持ち、そして何をしているか広報紙にも記載したいと存じます。どうか皆様方から積極的に事務局へ便りを寄せていただけることを願っています。

連絡先 369-02埼玉県大里郡岡部町
埼玉工業大学 深町研究室
TEL 0485-85-6856
FAX&TEL 0485-46-1040
E-mail tomoe@sit.sc.jp

ご冥福をお祈りします。
千野(松山)晴子様(平成7年3月死去)

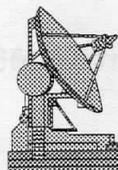
上田千曲高校同窓会関東支部総会を開催いたします。

来る平成8年11月17日(日)、午後1時より、健保会館(TEL03-3403-0531地下鉄千代田線乃木坂駅上)にて上田千曲高校同窓会関東支部総会を開催致します。同窓・同期生に声を掛け合っていたいただき、できるだけ多くの皆様にご参加いただけますようご案内申し上げます。

上田千曲高等学校同窓会 関東支部 電気科部会

部会長 横谷安定
幹事 関弘吉 坂口光治
清水道徳

事務局長 深町共栄



編集後記

役員総会で広報紙を発行してみてもと口にしたことから、経験もないのに発行を試みるはめになりました。畑違いの者が手がけたものですから出来映えには全く自信がありません。今後きちんとした広報係を設けさせていただき、この試みが長続きできるように願いたいものです。(T. F)

